

参加者募集 『やまなし環境教育ミーティング2023～やまなしの自然を活かした教育・暮らし・仕事～』

山梨県内で地域に根差した暮らしや教育、環境活動をしている方々の活動を知り、お互いにつながる機会として、年に一度の開催をしています。KEYWORD“環境・教育・森のようちえん・暮らし・しごと・観光・ものづくり・インタープリテーション・ESD・SDGS・農・地域づくり”などにピンときた方は、是非ご参加ください。

●日時／2023年3月4日(土)10:00～15:30 ●会場／山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター

●パネルディスカッション／・高田研(都留文科大学地域社会学科教授)

・古屋真弘(甲斐国一宮浅間神社) ・まちの上の朝市 uenohara

●対象／どなたでも 一般、学生の皆様 ●参加費／無料

●主催／山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター、やまなし環境教育ミーティング実行委員会

●共催／公益財団法人キープ協会、山梨県地球温暖化防止活動推進センター

●お問合せ・お申込み 山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター 電話 0551-48-2900

申し込みフォーム <https://ssl.formman.com/form/pc/cK2AGkaVNaEr8xAk/>

やまなし環境活動推進ネットワークフォーラム～脱炭素な未来へ 山梨の企業と市民のチャレンジ

●日時／2023年2月23日(木) 13時～ ●オンライン「ZOOM」開催 ●申込み期限／2月20日(月)

●主催／公益財団法人やまなし環境財団・環境パートナーシップやまなし

●プログラム／主催団体の挨拶、パネルディスカッションなど

●パネリスト／

・株式会社 相川プレス工業・株式会社 仙洞田板金工業共同企業体 ・株式会社 山梨中央銀行

・生活協同組合パルシステム山梨 ・都留文科大学の学生サークル「しえあはび」

●お申込み／公益財団法人やまなし環境財団・環境パートナーシップやまなし

TEL:055-223-1634 FAX:055-223-1781 E-mail: shizen@pref.yamanashi.lg.jp

令和4年度地球温暖化対策セミナー～わたしたちのこれから エネルギーの未来と地球温暖化を考える

地球温暖化の主な原因は、化石燃料の使用により排出される二酸化炭素です。世界中で化石燃料から脱却する「脱炭素」の考え方が広まり、エネルギーの転換が進みつつあります。今回のセミナーでは、エネルギーの未来と地球温暖化についてみなさんとともに考えていきます。

●日時／2023年3月4日(土)13:30～16:30

●会場／甲府市総合会館 3階 大会議室 (甲府市青沼 3-5-44)

●主催／甲府市地球温暖化対策地域協議会 ●申込み締切／2月28日(火)

●定員／80人 ●参加費／無料 ●オンライン(ZOOM)でも配信(申込時に接続方法を伝えます)

●内容／【講演】急激に進む世界的な脱炭素・エネルギー大転換、

地域に根差した再エネとモビリティが主役の時代に／講師:NPO法人環境エネルギー政策研究所 所長 飯田哲也

【事例紹介】脱炭素・地球温暖化防止へ向けた事業者の取り組み／株式会社山梨中央銀行・山梨トヨペット株式会社

●お申込み 甲府市地球温暖化対策地域協議会 Tel055-241-4363 メール kankyohozen@city.kofu.lg.jp

事業者向け カーボンニュートラルハンドブックを作成しました！

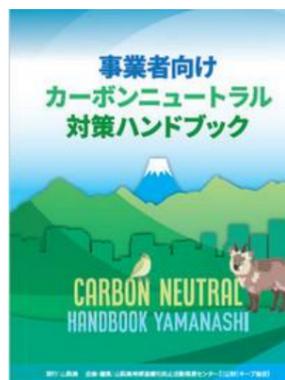
山梨県の事業者向けにカーボンニュートラルに向けて取り組みを進めて頂くためのハンドブックを製作しました。脱炭素の世界の潮流や事業者のメリット、具体例をたくさん盛り込み、巻末には各種情報サイトや補助金の情報もまとめてあります。ぜひご活用ください。冊子データはセンターWEBでダウンロードができます。

<https://www.keep.or.jp/yccca/material.html>

発行：山梨県地球温暖化防止活動推進センター 公益財団法人キープ協会

〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545 やまねミュージアム内 TEL:0551-48-8011

FAX:0551-48-3577 mail: eco@keep.or.jp <https://www.keep.or.jp/yccca/>



かつての学び舎と共に地域を豊かに

～人もエネルギーも元気も地域で循環する

暮らしの中心地～



つうしん 26号

『株式会社みとみむら』では、山梨市の旧三富小学校跡地を有効活用し、三富の自然をいかした事業を展開しています。建設、農、アクティビティ提供等 5 つの地元企業が協働し、三富の自然を活かして、災害時には拠点となる場として 2021年7月から動き出しています。推進員でもある根津さん取材させて頂きました。

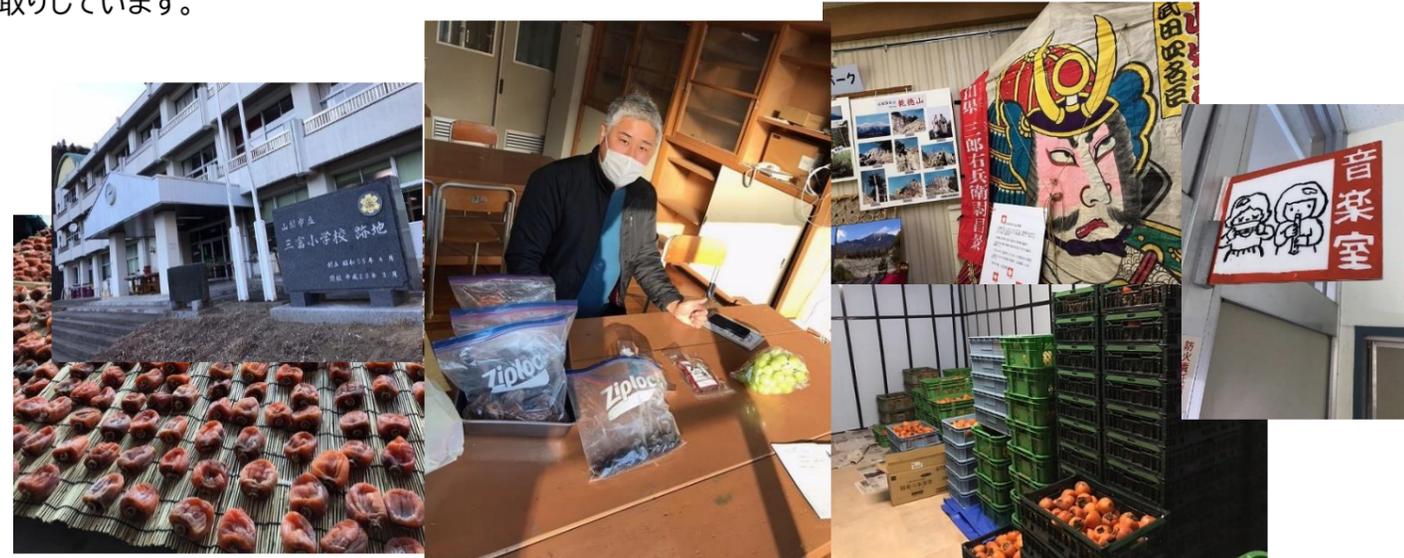
脱炭素、温暖化防止の視点で紹介をさせていただくと、次の2点が、まずあります。

◆自然エネルギーを活かしたドライフルーツづくり

校庭と屋内プールいっぱい、ずらりと並んだ干し柿の列。「昔は当たり前になっていた。自然のエネルギーの流れをうまく活かすと共に、発酵文化も含め、冬の食糧の保存の知恵ですよ」「冬は農閑期になるので、そこでどう生きる糧を得ていくかのたくましい部分でもありますよね」と根津さんは語る。柿や大粒ブドウも巨大レーズンとなり、濃厚な味わいを出していました。

◆フードロスの削減、山梨4パーミルの普及

食糧廃棄の削減は、「ドロダウン 100 の方法」の中でも総合で第3位に位置する重要な課題。山梨のブドウは房で販売されるが、当然こぼれる実がでます。その実を集めて販売を開始。1種類だけでなく複数の種類をあわせて販売、買う側にとってもいろいろな種類を食べられてうれしい！「果樹を育てる時にでる剪定枝も、炭にして畑に戻すことで土壌改良剤として活かしています。その土地のエネルギーで育ったものをその土地に戻しているだけです。山梨4パーミルの手法は、現場に適しています。」根津さんは、当たり前話しながら、炭素固定とエネルギー循環の視点からも、未来を先取りしています。



「山羊と烏骨鶏もここで飼います。耕作放棄地の再生や、ビジターセンター機能もあるんです。」廃材の活用、鳥獣害で駆除されたシカ肉のペットフード化とドッグラン、懐かしい校舎を活用した貸館事業、次年度には簡易宿所としての機能も動きはじめ、それはまた気候危機が広がる中の防災拠点機能にもつながっていく。訪問した日も、農福連携で作業中の活気がある時間でした。

「自分たちで何とかしようと思えば、何とかなる」

「地域に(未来への)あかりを灯していかないと」

根津さんの言葉には、エネルギーも元気も地域で循環する未来型の暮らしの在り方へ、一步一步進む姿に、

「地域の力」が、ここでも光と熱を放っていました。

取材・文／鳥屋尾健

◆株式会社みとみむら HP <https://mitomimura.com/>

地球温暖化が 気候危機へ

急がれる気候変動
への対応

2023.1.24
県立図書館

キコク：ぐらいい屋 律



川原博満さん
環境省関東地方環境事務所
環境対策課地域適応推進専門官

気候危機により、
生命に関わる影響も！

『世界は、日本は、自分の地域は今
どんな状況で、自分たちはどこに
向かていきたいのか？』常に意識
して活動をすすめましょう

人に伝える時は、どこからの出典なのか
まず話すのがオスス。今日は
ココから!!

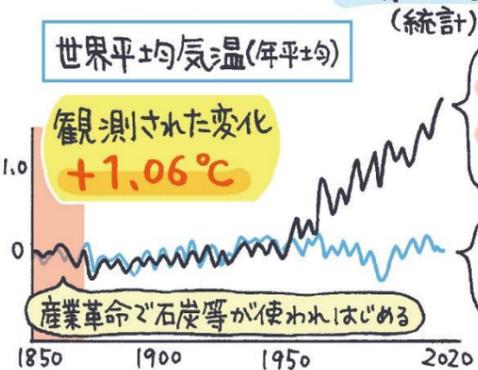


IPCC
第6次評価報告書
AR-6
2021-2022

IPCC:気候変動に関する
政府間パネル(研究者グループ)

気候変動の現状と将来予測

1850~2020年までの世界平均気温は?



じゃあ日本は??

日本の上昇率は
世界平均の**1.6倍!**



山梨の気温変化は??

100年前より
約**2.2°C**上昇

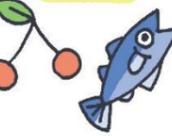


気候変化⇒気候危機へ!

熱中症



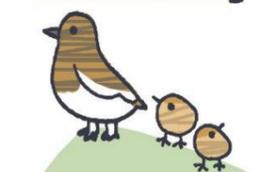
農水産物への
影響



台風・豪雨災害



生態系への影響



これらにより
企業にも
もちろん損害が!

出勤不可

被災による
売上減少

原材料等
の供給停止

などなど

ひえ~

では我々は温暖化を
+何°Cで止めたいのか!?

重要

想定されるシナリオの
データを出すのは研究者

選ぶのは
私たち!

すでに約1°C
上昇してんだけどね
(左ページ参照)

+1.5°C	vs	+2°C
70%-90%消失	サンゴ・石炭	99%以上消失
約200万人~500万人	干ばつ(都市人口)	約200万人~620万人
2倍	洪水の影響	2.7倍
約150万t損失	年間魚獲量	約300万t以上損失



コストもかけて工夫して
しっかりがんばるか
そろそろがんばるか
そのうちがんばるか
未来に差がでてくるよ!

ESG金融の拡大

Environment Social Governance
(環境) (社会) (企業統治)

信者からしても、環境等に
悪いコトしたらダメ!

イギリス主導で国際的な
開示義務化へ

市民も「どう
会社なのか」見定めてくる

日本は
今年4月から

プライム市場上場企業が
猛勉強して推進中!
開示情報をCHECK★

TCFDがしっかり
している企業に投資
しよう



TCFD開示義務へ

＜気候変動に対応した経営戦略＞

新たなビジネスチャンスにも!



まず私たちが
知ろう→普及啓発・行動変容へ



『気候変動適応法』
の整備、どんどん
進めています!

山梨もがんばろう

できたてホヤホヤ 山梨県発行



企業が脱炭素に取り組む
メリット・取り組まないこと
による経営リスクから
省エネ・再生可能エネルギー
利用に関する具体的な
取組事例まで
まるっと紹介!

山梨県地球温暖
化防止活動推進
センターのHPからも
ダウンロードできます

Q&A (一部)

Q. COOL CHOICEにもっと項目を増やして
ほしい!どこに連絡すればいい?

A. 環境省や自治体の担当課や
温暖化防止活動推進センターへ。
(具体的なアイデアや事例を添えて)

Q. 企業がシステムを変えていこうとする時、
どう勉強すればいい?

A. コンサル研修会や国のセミナーなどに
参加。「省エネ最適化診断サービス」
(事業者一割負担)もあり!

武川裕一郎 山梨県環境・エネルギー政策課

コレもぜひ
参考に!!